

M. M. 社会システム学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校生になった頃に韓国への留学を考え始めました。日韓関係に興味があり、韓国の対外政策や韓国での日本に対する世論を知りたいと思ったのがきっかけです。本学には協定留学制度があり、韓国との協定大学があったため留学を目指しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

大学 1 年生の時に、第 2 外国語の授業で韓国語を選択して学びました。それと同時に、留学するのに必要な TOPIK やハングル能力検定 3 級をそれぞれ 1 冊ずつ参考書を購入し、勉強し始めました。語彙力と文法が不十分だったため、それらを重点的に勉強しました。リスニングに関しては、韓国ドラマや K-POP を中学生の頃から観たり聴いたりしていたので、耳は慣れているほうでした。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

特に勉強はしていませんでしたが、YouTube のコンテンツをよく見て知らない単語が出てきたらその都度調べていました。語学堂のクラス分けのテストがあると聞いていたため、少し不安でしたが、結局テストはなく、希望したクラスに入ることができました。

◆ ビザ申請方法

ビザの申請は必要書類が揃うのに時間がかかり、出発日の 1 か月前くらいに申請しました。私の地域の場合、申請と受け取りには駐大阪大韓民国総領事館に行く必要がありました。申請するまでに事前にホームページで必要書類等を調べておくことをおすすめします。また、現地で取得した正規科目の単位は、卒業に必要な科目（科目区分・群）に読み替えることができるので、前年度のシラバスを参考に早いうちから履修したい授業を考えていました。本学の履修登録とは異なり、早い者勝ちで決まってしまうので、どうしても履修したい科目がある場合は気をつけてください。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

空港から電車で 1 時間半程かけて寮へ向かいました。大荷物を持つての移動は大変だったので、リムジンバスなどを利用するのが良いと思います。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

寮についての説明を受けた後、布団などの日用品を買い出しに行きました。到着後 2、3 日は買い物をしたり、病院や銀行に行ったりして忙しかったです。大学のオリエンテーションもその間にありました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

私のクラスには、私を含めて 3 人日本人がいましたが、モンゴル人が 8 割を占め、その他にもベトナム人やフランス人がいました。教室は少し狭かったですが、授業でクラスメイトとスピーキングの練習をするにはちょうど良かったです。大学内に語学堂が設置されていたので通いやすかったです。

◆ 授業内容、課題、試験

毎日月曜日から金曜日の 9～13 時まで 4 時間行われ、4 技能すべてを学びます。授業ではソウル大学の韓国語教材を使用しました。私のクラスの課題は単語の予習でした。テストについては 2 週間に 1 回ほどライティングとスピーキングの小テストが交互にあり、中間、期末試験もありました。どれもテキストから出題されるので授業をしっかり受けていれば問題ありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

大学に 24 時間営業のコンビニエンスストアと図書館があり、テスト期間は非常に助かりました。ほかにも、自習室やカフェなど勉強する環境が整えられており、大学に残って長時間勉強する人などのための仮眠室がありました。大学には Wi-Fi が完備されているため、パソコンの使用に困ることはありませんでした。大学の正門から校舎までが急な坂道だったため登るのが大変でしたが、坂を登り切ったところから見える景色がきれいだったのが印象に残っています。

◆ 履修科目について

・ Understanding Human Rights

人権について多様な問題を扱いながら、人権の歴史や重要な価値観を理解するという授業でした。

・ 国際関係史

世界の大国間の対立と同盟、戦争と平和について考察し、近代以降の国際政治体制が確立される過程を学びました。

・ 韓国の公共外交

パブリック・ディプロマシーの視点から韓国の外交政策とその具体的な事例を学びました。

K-POP や韓国ドラマなどの文化の話も登場し、まさに自分が外交政策を体現していることに気づき面白かったです。

◆授業、レポート、定期試験

・ Understanding Human Rights

2 回のグループワークと個人ワークが 1 回ありました。どれも授業で扱った内容について深く調べて自分の考えをまとめるものでした。英語で実施される授業であったため、話し合いも基本は英語でした。英語や韓国語を駆使して自分の意見を述べるのが難しかったです。また、中間試験と期末試験があり、どちらも英語での記述式問題でしたが、事前に各週のポイントと試験問題を教えてくださったので、しっかり準備して臨めば問題ありませんでした。

・ 国際関係史

テーマを 1 つ選んでグループでプレゼンを行いました。私たちのグループは日中戦争について、教授が指定した本をもとに内容をまとめて発表しました。これまでに自分が歴史の授業で習ってきたことよりも深く、知らないことが多いなか、韓国語でプレゼンしなければならなかったので緊張しましたが、グループメンバーのサポートのおかげでなんとか終わることができました。試験は、中間と期末があり、英語か韓国語で記述回答しなければなりません。中間試験では英語で書きましたが、授業で聞いた重要なポイントを韓国語のままで覚えていたために余計に難しく感じました。そのため、期末試験では韓国語のままで記述し、ある程度回答できたと思います。

・ 韓国の公共外交

国を 1 つ選び、その国を対象とした韓国の公共外交政策を提案するというレポート課題がありました。この授業は 2 人の教授が共同で担当しており、そのうちの 1 人は日本語が堪能でいらしかったことから、日本語でのレポート提出が可能でした。試験についても、中間と期末がありましたが両方とも日本語での回答が許されました。試験までに出题テーマが発表されるので、授業の復習と自分の考えを事前に準備しておけば問題ありませんでした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ、課外活動、ボランティア活動は特に何もしていませんでした。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 正規科目履修期間

学校から徒歩 2 分ほどの距離にある指定の寮に、ルームメイトと 2 人で住んでいました。留学開始から 1 か月経った頃に 1 人部屋を希望し、そのまま同じ部屋を 1 人で使っていました。冷蔵庫や洗濯機、電子レンジなどの家電はついていましたが、ベッドが硬かったので

マットレスなどを購入すると良いと思います。食事は、自炊をしたり学食を利用したりしていました。寮の周りに飲食店が多かったので外食やテイクアウトをすることもありました。

⑨長期休暇の過ごし方

1 セメスターだったため、長期休暇はありませんでした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

オンラインでの説明会に可能な限り参加していました。インターンシップの応募についても、留学先でテストを受けることができたので問題は特にありませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ドラマで見た韓国の大学生活にあこがれていたもので、実体験できたことがすごくうれしかったです。特に、MT と呼ばれる合宿に参加できたことが楽しかったです。1 泊 2 日で大学の施設を利用し、ゲームや食事をして楽しみました。同じ学科の 1 年生がほとんどで、日本人は私だけでしたが、勇気を出して話しかけたことで、たくさんの友人ができて良い思い出になりました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

苦勞したのは、正規科目の授業です。最初の 3 か月間は午前に語学堂、午後に正規科目授業があり、休憩時間も 10 分と短かったので大変でした。私の場合、水曜日に語学堂と正規科目の授業時間が 1 時間重なってしまったので、語学堂の先生に理由を説明して欠席し、正規科目の授業を受講していました。正規科目の授業は 1 科目約 3 時間が基本だったので、韓国語を聞き取って授業についていくのが難しかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

ゴミの分別が慣れるまでに時間がかかりました。寮の先生が週に 2 回確認しに来られたので、慣れるまでは教えてもらいながら捨てました。勉強熱心な学生が多く、テスト期間は自習室の席を確保するのが難しい時もありました。留学などを理由に休学する人も多くいるようでした。また、お会計は基本的にクレジットカードだったので、現金をたくさん持ち歩くことがなく便利でした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、留学生向けのバディプログラムがあり、現地学生と留学生がグループになって、留學生活のサポートをしてもらったり、一緒に出掛けたりしました。些細なことも気軽に相談できたので安心して留學生活を楽しめました。また、留学生向けのイベントがたくさんあり、ほかの留学生と交流する機会があったことも良い思い出になりました。悪かった点は、大学の正門から校舎まで行くのに急な坂道を登らなければならなかったことです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

ふりかけやみそ汁、緑茶のティーバッグをいくつか持っていきました。基本的に自炊していたので時間がない時に簡単に作れるので便利でした。旅行用のケトルも役に立ちました。授業では PowerPoint の資料が送られることもあるのでパソコンやタブレットは必須です。また、韓国では基本クレジットカードでお支払いをしていました。キャッシングの際に使える種類もあったので予備のカードも用意しておくことをおすすめします（VISA と JCB の 2 種類を持参しました）。

③ 語学力の向上等、留學の成果、留學前と後で変わったこと

留學前は韓国語のレベルが最低限しかありませんでしたが、語学堂でしっかり勉強し、現地の友人と積極的に話すことで、会話力が向上しました。帰国後に受けた TOPIK ではスコアを 90 点ほど伸ばすことができたので語学力の向上を実感することができました。また、韓国が世界の国々に対してどのような外交を行っているのかを知り、より興味を持ち今後のゼミに活かせるのではないかと思います。

④ これから留學をしようと思っている後輩へのアドバイス

韓国語の上達だけではなく、自分の考えや可能性を広げることができると感じました。異なる文化に触れることに不安はあるかもしれませんが、失敗を恐れずに自分から積極的に行動してみると、日本にいたら分からなかったことを知ることができます。留學生活は辛いこともあります。振り返ってみればそれも思い出として残ると思います。機会があるならば、そのチャンスを逃さずに勇気を出して頑張ってみてください！

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

一般企業に就職するつもりですが、いつかは留學の経験を活かして海外で働きたいと思っています。留學で得た積極性や行動力を今後も発揮していきたいです。

V. 写真



他校の学園祭に行った時の写真です。この日は TWS という K-POP グループのステージを観ることができました。



バディプログラムの友人たちとロッテワールドに行きました。平日に行きましたが思ったよりお客さんが多かったです。色々なアトラクションを楽しみました。



日本人の友達と釜山に 2 泊 3 日で行ってきました。授業がすべて終わった後だったので、思いっきり遊びました。広安里の海は少し冷たくて気持ち良かったです。美味しいものもたくさん食べてきました。



授業で出会った友人とごはんに行った時の写真です。寮の近くにはお店がたくさんあって便利でした。日本食レストランもあり、恋しくなった時に足を運びました。